

佐渡市立新穂中学校学校だより

# 新穂の穂り

教育目標

やさしく つよく あたらしく



☎22-2067  
FAX 22-3838

niibo-js@sado.ed.jp  
平成29年1月25日

## 「今の自分と比べる」 立志元服式②⑤

校長 大谷直治

創立70周年の年に25回目の立志元服式が、児玉勝巳教育長をお迎えして盛大に行われました。新穂村の時代から、地域の方々が地域の宝である子どもの義務教育終了を祝い・その旅立ちを励ますために始めた企画です。この内容の素晴らしさ故に、四半世紀も、佐渡市になっても新穂公民館事業として継続しています。マスコミも注目して、開催されています。新穂の「知恵」を、また一つ確認することができました。生徒の真剣な参加態度に感動し、地域の皆様に感謝、感謝の式典でした。

### 『夢を叶えるための3つの法則』

記念講演 講師；青柳勸（\*）

- 1 好きな体験（＝情報）をやり続ける。  
（→自分の夢が見つかる。夢となる。）
- 2 継続する力をつける。  
（今の自分と比べる。50点→51点。）
- 3 協力者（仲間）を見つける。  
（自分の夢を口にする。）

\* 新潟産業大学教員、ブルボンウォーターポロ柏崎GM

【経歴】京都府出身、18歳で水球日本代表、筑波大学卒、5度の世界水球出場、スペイン・イタリア・モンテネグロのプロリーグで活躍、日本選手権優勝、「水球の柏崎」へ



青柳さんのお話の中に、「25歳で医者になる人もいれば、35歳、45歳、100歳で医者になってもいい」、「時間が問題ではない」、「絶対に叶えたいと思えるか否かだ」との言葉がありました。

「15歳で、18歳で人生が決まる」という言葉を信じている人がいます。どこの高校、大学に入ったかで幸せが決まると……。まして中学生は、今、人生が始まったばかりです。夢を叶えることにあせることはありません。時間はあります。

人と比べて卑下（ひげ）したり、慢心（まんしん）する必要は全くありません。亀のように人生のゴールを目指して、少しずつ協力者（パートナー、仲間）、そして地域とともに歩み出しましょう。

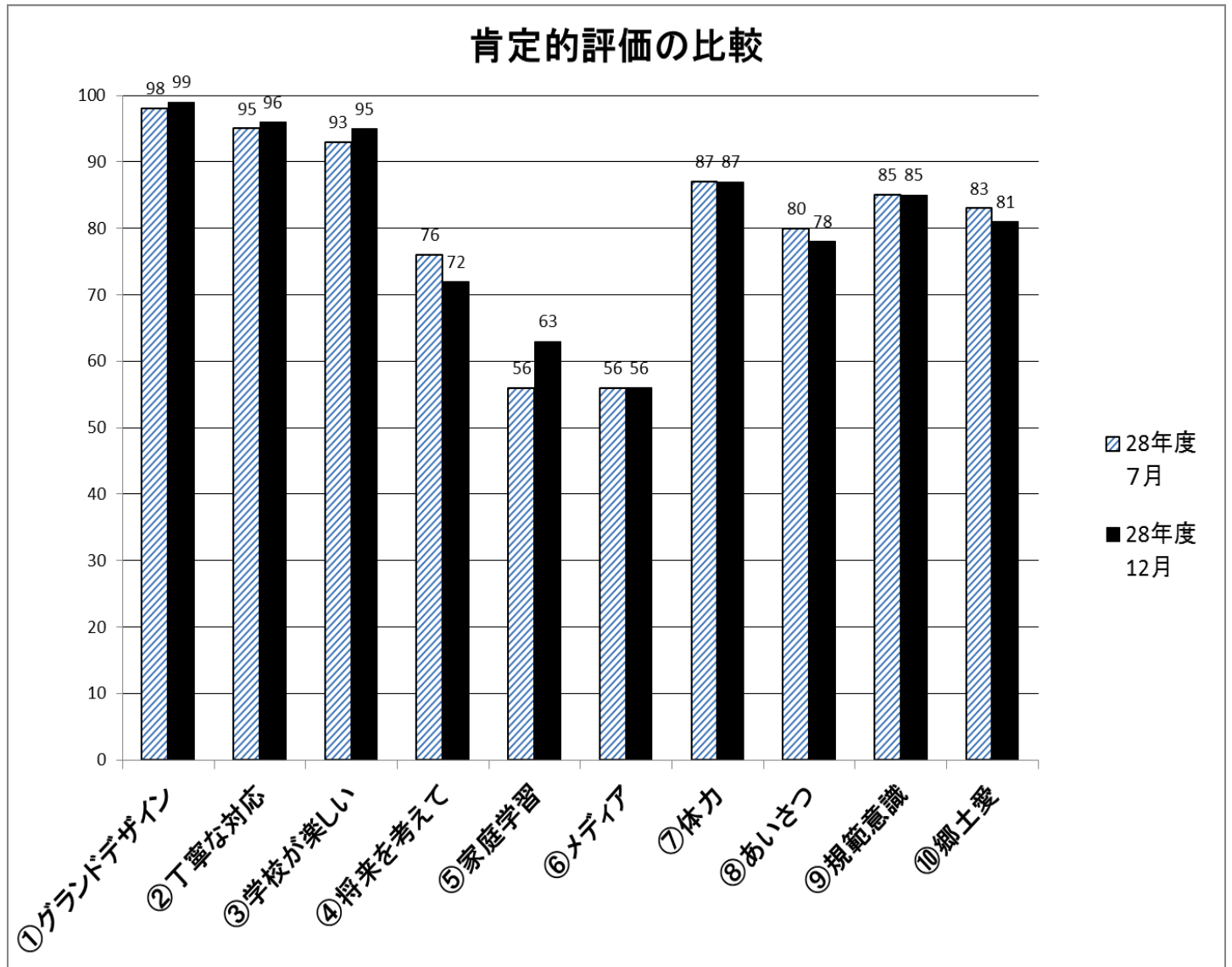


《剣舞形披露》

藤塚 直（教士七段）・橋本和樹（五段）

# 平成28年度学校評価 第2回保護者アンケートの結果

(7月と12月の比較)



○第1回（7月）に比べて、設問3、5で肯定的な評価の数値が高くなりました。理由として、設問3「学校が楽しい」→「70周年記念体育祭」「70周年記念文化祭」「仲間づくり集会」など生徒が主体となって運営した行事が多くあった

設問5「毎日1時間以上の学習」→家庭学習ノートの提出を徹底、生徒主体の「新穂勉強祭」を実施したなどが考えられます。

○設問4、8、10で肯定的な評価の数値が低くなってしまいました。改善策として、

設問4「将来を考えて」→キャリア教育を見直し職場体験の事前事後指導を充実させる

設問8「あいさつ」→生徒会主体による気軽にあいさつが交わされるよう工夫したあいさつ運動を実施する

設問10「郷土愛」→「新穂探訪」や「島内探訪」に加えて「地域の祭への参加」を計画する

などを、考えています。今後はアンケート等の資料を活用して、次年度の生徒の学習面、生活面での成果がさらに向上するよう、職員間で話し合い、学校評価検討委員の改善策を講じていきたいと思ひます。保護者の皆様、アンケートへのご協力ありがとうございました。

## 自由記述より(抜粋)

- ・保護者会で、ひとつひとつ丁寧に子どものことを教えていただきとても嬉しかったです。こちらの質問にもきちんと答えてくださいました。学校での子どもの様子がとてもよく分かりました。
- ・新穂中学校の先生方はみなさん信頼できる良い先生だと安心しています。
- ・高校進学のも機付けに、各高校の現役高校生(卒業生)の話の聞ける機会があるといいと思います。高校生活、部活、受験勉強の取り組み方など身近な先輩からざっくばらんに話を聞けるような機会を是非設けてほしいです。

→ご提案ありがとうございます。よい企画だと思います。卒業生の都合がつけばキャリア教育の一環として是非実施してみたいと考えています。

- ・子どもの様子をきちんと見てくださってありがたいと日々思っています。ありがとうございます。いつまでも新穂中が素晴らしい学校であることを願っています。よろしく願います。来年度の入学生の対応を今から準備してもらいたいです。

→ご意見ありがとうございます。来年度新入生への対応は、現6年生の体験入学の実施や中学校教員による定期的な授業参観と出前授業で、進学への不安を取り除き、中学校生活になじめるよう工夫しています。小学校と中学校でしっかり連携して取り組んでいきます。

- ・部活動で新穂地区体育館を使用する際、顧問不在時の緊急時の対応について学校と生徒間でしっかり共有しておくべきだと思います。(連絡法、AEDの取り扱いなど)

→ご指摘ありがとうございます。生徒の安全を第一に考えています。1月からは地区体育館で活動する際、顧問が行けない場合は必ず職員の誰かが生徒の様子を見られる体制を整えました。ご指摘、本当にありがとうございました。

## 新穂中生徒の活躍

<佐渡市中学校バレーボール1年生大会> 1月15日(日) サンテラ佐渡スーパーアリーナ

第4位 新潟地区大会(2月4日)に進出(両津中学校、佐渡中等教育学校との合同チームで出場)

## 2月の主な予定

6日(月)	期末テスト①(3年)	20日(月)	18日の振休
7日(火)	期末テスト②(3年) 新入生入学説明会	21日(火)	期末テスト①(1、2年生)
11日(土)	建国記念の日	22日(水)	期末テスト②(1、2年生)
13日(月)	全校朝会、生徒総会	28日(火)	専門委員会
18日(土)	フリー参観、PTA総会 学年懇談会		



# 第25回立志元服式

【『新潟日報』より転載 1月12日】

(前略) 一人一人が「努」「伝」「成」「前」など文字を書いた色紙を披露し、代表の4人が出席者の前でこれからの抱負を述べた。「努」の字を書いた池野美音さん(15)と橋本空馬さん(14)は「たとえ実らなくても努力した課程は無駄にならないと感じ、努力する大切さを知った」「努力を忘れずに何でもやっていきたい」とそれぞれの思いを述べた。「歩」を掲げた金子萌美さん(15)は「夢に向かって一歩ずつ歩んでいきたい」と話し、城野菜々花さん(14)は「喋」という字に「自分の考えや意見を曲げない人になりたい」という強い意志を込めた。

式では佐渡市剣道連盟剣士による剣道形披露が行われた。生徒らは迫力あふれる演技に見入っていた。また、水球クラブチーム「ブルボンウォーターポロクラブ柏崎」のゼネラルマネージャーを務める青柳勸さんが「夢をかなえるための3つの法則」と題して講演。「夢をかなえるためには時間の制限を設けないこと」「協力してくれる仲間を見つけること」などポイントを話した。

新穂中の大谷直治校長は「地域で子どもを育てようと土壌があったから70周年を迎えられ、式も続いてきた。生徒には志を頼りに羽ばたいてほしい」と話した。



## 生徒の感想より

- ・「5%ビジネス」や「夢は声に出す」というお話が印象に残りました。
- ・個別に質問したとき、つらいことは「孤独」と「空腹」だという答えが興味深かったです。
- ・青柳さんは185cmの高身長なのに、海外のチームに行くと200cm以上が普通で、低い方から2番目だったということに驚きました。
- ・自分の夢はまだ決まっていませんが、話を聞いて夢を見付けようと思いました。
- ・夢を叶えるには年齢制限はないという言葉が心に残りました。
- ・勸さんの話を聞いて水球をやってみたくなりました。
- ・成功者はだれでも失敗するということを考えました。だから、失敗してもあきらめずにやり続ける事が大切なんだと気づきました。
- ・仲間を大切にして、自分の夢を声に出して言うことを心掛けていきます。